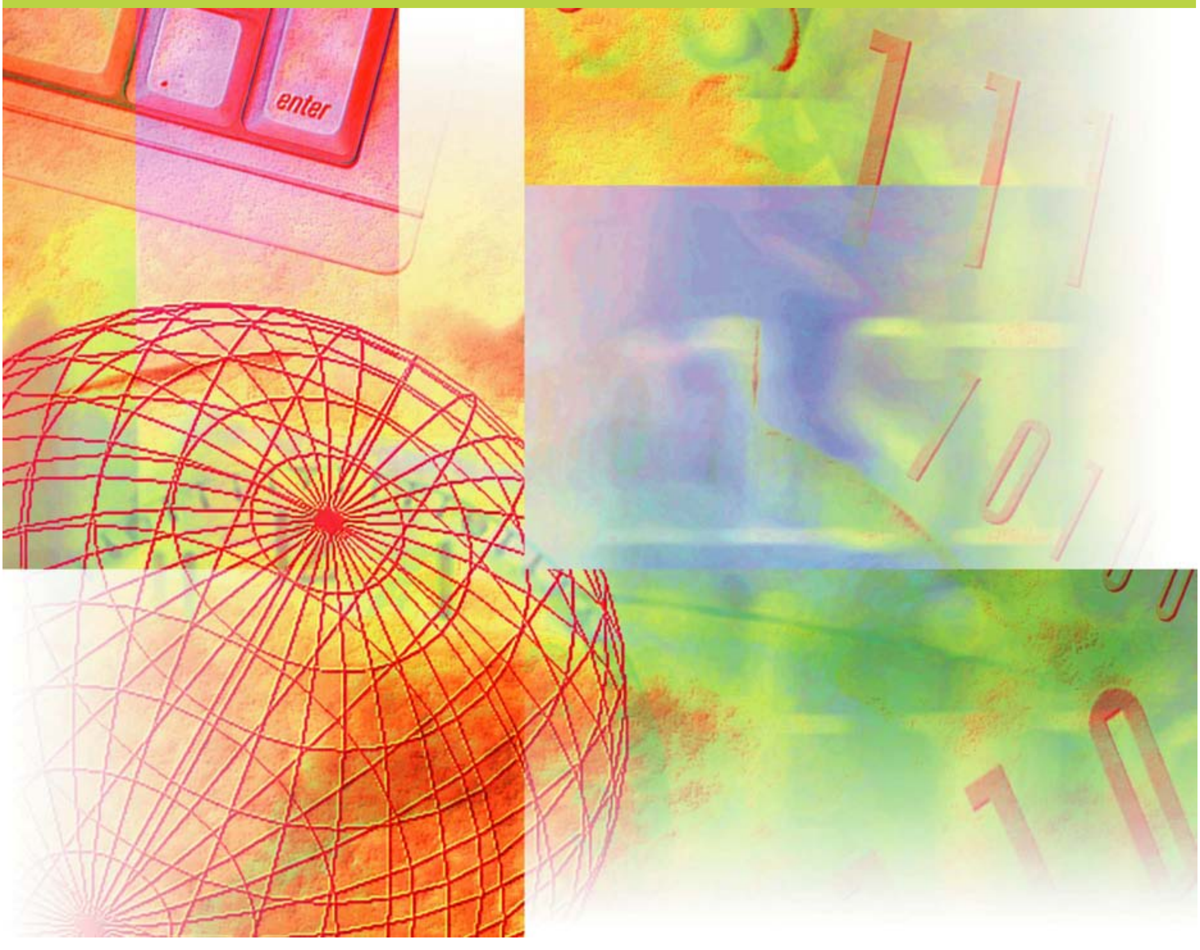
Canon

Satera MF5770

ネットワークガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に含まれている PDF マニュアルです。

目的	ガイド	形態
• 製品の設定方法については • ソフトウェアのインストールについて知るには	セットアップシート	紙マニュアル
• 製品の設定方法については	MF5730/MF5750 のみ セットアップシート（本体設置編）	紙マニュアル
• ソフトウェアのインストールについて知るには • ネットワークの設定方法については	MF5770 のみ セットアップシート（ネットワーク・プリンタ機能設定編）	紙マニュアル
• コピーおよびプリントに関する説明については • 困ったときには	MF5770 のみ ユーザーズガイド	紙マニュアル
• ファクスに関する説明については • 困ったときには	ファクスガイド	紙マニュアル
• ソフトウェアのインストールおよび説明については • プリント、スキャナ動作およびコンピュータからのファクス動作について知るには • 困ったときには	MF5750/MF5770 のみ ソフトウェアガイド	CD-ROM
• リモート UI に関する説明については	リモート UI ガイド	CD-ROM
• ネットワークの接続と設定方法については	MF5770 のみ ネットワークガイド（本書）	CD-ROM

MF5770 のみ

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 本書は、改良のため画面等は予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
-

ネットワークガイドの構成について

第 1 章　ご使用の前に

第 2 章　ネットワークを設定する

第 3 章　付録

困ったときには、ネットワーク設定、ソフトウェア情報、用語集および索引などを掲載しています。

目次

第 3 章　付録

はじめに

このたびはCanon Satera MF5770をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。また、お読みいただいた後もいつでも使用できるよう大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

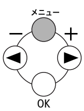
本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となることなどの説明に、下記のマークを付けています。

重要
- 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

メモ
- 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーの表記について

本書では、操作するキーを以下のように［　］を用いて表しています。［　］内には操作パネル上のキー名称が示されています。



［メニュー］を押します。



［ストップ／リセット］を押します。

画面について

操作時にクリックするボタンの場所は、（丸）で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

1 **[OK] をクリックします。**



本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 98 日本語版を Windows 98 と表記しています。

Microsoft® Windows® 98 Second Edition 日本語版を Windows 98 SE と表記しています。

Microsoft® Windows® Millennium Edition日本語版をWindows Meと表記しています。

Microsoft® Windows® 2000 日本語版を Windows 2000 と表記しています。

Microsoft® Windows® XP 日本語版を Windows XP と表記しています。

Microsoft® Windows® Server 2003 日本語版を Windows Server 2003 と表記しています。

商標および著作権について

商標について

Canon、Canon ロゴ、Satera、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

注意事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

ご使用の前に

1
CHAPTER

本製品が対応しているネットワーク環境やお使いのネットワーク環境の確認方法など、あらかじめ知っておいていただきたいことについて説明します。

必要なシステム環境

本製品が対応しているシステム環境について説明します。

印刷に必要なシステム環境

本製品で印刷するには、以下のシステムおよびネットワーク環境が必要です。

■ 対応しているプロトコル

- TCP/IP

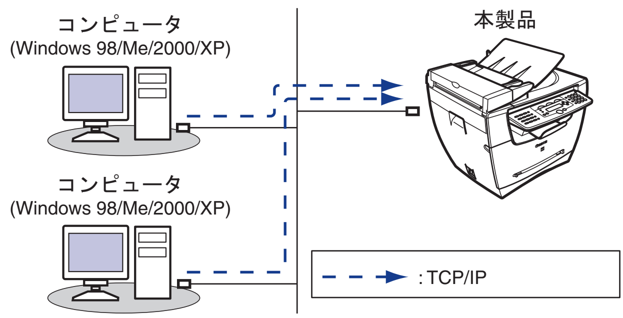
■ 対応している OS

- Microsoft Windows 98/98SE/Me
- Microsoft Windows 2000 Server
- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows Server 2003

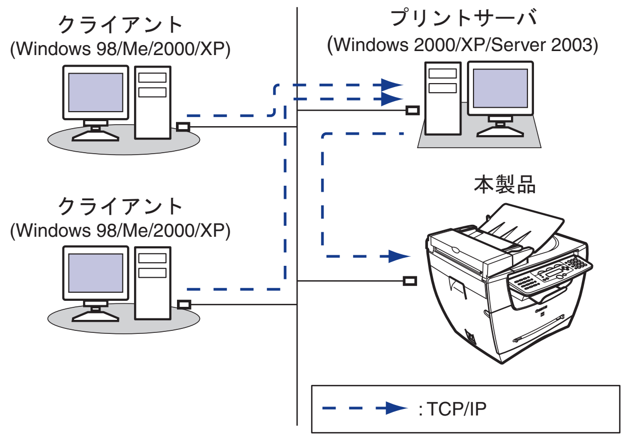
お使いのネットワーク環境の確認

以下の図を参考に、本製品を接続するネットワーク環境の確認をして、必要な作業を行ってください。

■本製品をコンピュータに直接接続する場合



■本製品をプリントサーバを介してコンピュータに接続する場合



メモ

- LAN ケーブルを本製品に接続する方法は、セットアップシート（ネットワーク・プリンタ機能設定編）を参照してください。本製品をコンピュータに直接接続する場合は、クロスタイプの LAN ケーブルを使用してください。
- ネットワークの設定については、「2 章　ネットワークを設定する」(→ P.2-1) を参照してください。

ネットワークを設定する

2
CHAPTER

本製品を TCP/IP ネットワークで使用するための設定方法について説明します。

TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業

TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

重要 手順 1 ～ 3 の作業は、ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

1 ネットワークケーブルの接続（→ セットアップシート（ネットワーク・プリンタ機能設定編）「本製品をネットワークプリンタとして使用する（ネットワーク接続）」）

「セットアップシート（ネットワーク・プリンタ機能設定編）」に従ってネットワークケーブルを接続してください。

2 TCP/IP プロトコル設定の準備（→ 「プロトコル設定の準備」：P.2-3 ）

本製品とコンピュータ間でやり取りを行うための基本的なプロトコルを設定します。以下のいずれかを使用して設定できます。

- 本製品の操作パネル
- NetSpot Device Installer（ソフトウェア CD-ROM 内のユーティリティソフト）
- ARP/PING コマンド

3 TCP/IP プロトコルの設定（→ 「プロトコルの設定」：P.2-11 ）

本製品の詳細なプロトコルを設定します。以下のいずれかを使用して設定できます。

- NetSpot Console（Web ブラウザ経由）（キヤノンユーティリティソフト）
- Web ブラウザ（リモート UI）

4 印刷を行うコンピュータの設定 (→「印刷を行うコンピュータの設定」：P.2-16)

印刷を行う各コンピュータの設定を行います。

重要

- TCP/IP ネットワークで印刷する場合、次の印刷プロトコルが利用できます。
  - ・LPD
  - ・RAW（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）
- はじめに基本的なプロトコルを設定する場合、本製品の操作パネルをご使用ください。

メモ

- ユーティリティソフト「NetSpot Console」はソフトウェア CD-ROM に含まれていません。キヤノンサイトからダウンロードして使用してください。

プロトコル設定の準備

本製品のプロトコルを設定する前に、本製品とお使いのコンピュータが通信できるように、本製品の IP アドレスを設定する必要があります。この作業は、以下のいずれかを使用して行います。使いやすい方法で設定してください。

- 本製品の操作パネル
- NetSpot Device Installer（ソフトウェア CD-ROM 内のユーティリティソフト）
- ARP/PING コマンド

重要
- 以下の操作では、本製品のMACアドレスが必要です。MACアドレスを確認するには、ユーザデータリストを印刷してください。（→ ファクスガイド「6 章　各種レポート／リストをプリントする」）
- 以下の操作を開始する前に、本製品が電源に接続されていること、およびネットワークに接続されていることを確認してください。
- ARP/PING コマンドを使用する場合、以下の操作はIPアドレスを本製品に直接割り当てます。本製品は、IP アドレスを直接割り当てるほかに、DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを利用して設定することもできます。この場合、本製品の起動時またはリセット時に DHCP、BOOTP、RARP が利用可能かどうかが確認され、最初に利用可能とわかった方法で IP アドレスが設定されます。このとき、IP アドレスは自動的に割り当てられますので、以下の操作を行う必要がありません。ただし、DHCP、BOOTP、RARP を使用しない場合や、IP アドレスを割り当てなおす場合は、以下の操作を実行してください。

操作パネルによる設定方法

重要 操作パネルで設定した内容は、本製品を再起動したときに有効になります。

---

1 [メニュー] を押し、[◀(-)] または [▶(+)] を押して＜ 6. ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ＞を選択し、[OK] を押します。

2 [◀(-)] または [▶(+)] を押して＜ 1.LAN ｾｯﾃｲ＞を選択し、[OK] を押します。

3 [◀(-)] または [▶(+)] を押して＜ 1.IP ｱﾄﾞﾚｽ ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ＞を選択し、[OK] を押します。

■ IP アドレスを自動で取得する（動的割り当て）

4 [◀(-)] または [▶(+)] を押して＜ｽﾙ＞を選択し、[OK] を押します。

```
IPｱﾄﾞﾚｽ ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ
                 ｽﾙ
```

5 [◀(-)] または [▶(+)] を押して＜ DHCP ＞、＜ BOOTP ＞または＜ RARP ＞を選択し、[OK] を押します。

```
IPｱﾄﾞﾚｽ ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ
 1.DHCP
```

6 利用する項目について [◀(-)] または [▶(+)] を押して＜ｽﾙ＞を選択し、[OK] を押します。

```
DHCP
                 ｽﾙ
```

7 [ストップ／リセット] を押して待受画面に戻ります。

8 **本製品の電源コードを抜いて 10 秒以上待ってから再び接続し、再起動させます。**

■ **IP アドレスを手動で取得する（静的割り当て）**

4 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して<ｼﾅｲ>を選択し、［OK］を押します。**

```
IPｱﾄﾞﾚｽ ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ
              ｼﾅｲ
```

5 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して< 2.IPｱﾄﾞﾚｽ>を選択し、［OK］を押します。**

```
LAN ｾｯﾃｲ
 2.IPｱﾄﾞﾚｽ
```

6 **テンキーで本製品の IP アドレスを入力し、［OK］を押します。**

入力した IP アドレスを控えておいてください。＿＿＿.＿＿＿.＿＿＿.＿＿＿

```
IPｱﾄﾞﾚｽ
000.000.000.000
```

7 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して< 3.ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ>を選択し、［OK］を押します。**

```
LAN ｾｯﾃｲ
 3.ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
```

8 **テンキーでサブネットマスクを入力し、［OK］を押します。**

入力したサブネットマスクを控えておいてください。＿＿＿.＿＿＿.＿＿＿.＿＿＿

```
ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ
000.000.000.000
```

9 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して< 4.ﾃﾞﾌｫﾙﾄ ｹﾞｰﾄｳｪｲ>を選択し、[OK] を押します。**

```
LAN ｾｯﾃｲ
 4.ﾃﾞﾌｫﾙﾄ ｹﾞｰﾄｳｪｲ
```

10 **テンキーでデフォルトゲートウェイを入力し、[OK] を押します。**

入力したデフォルトゲートウェイを控えておいてください。_____ . _____ . _____ . _____

```
ﾃﾞﾌｫﾙﾄ ｹﾞｰﾄｳｪｲ
000.000.000.000
```

11 **[◀(-)]または[▶(+)]を押して< 9.ETHERNETﾄﾞﾗｲﾊﾞ >を選択し、[OK] を押します。**

12 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して<ｼﾞﾄﾞｳ>または<ﾏﾆｭｱﾙ>を選択します。**

● **イーサネットドライバを自動設定するとき**

▼ <ｼﾞﾄﾞｳ>を選択し、[OK] を押します。

● **イーサネットドライバを手動設定するとき**

▼ <ﾏﾆｭｱﾙ>を選択し、[OK] を押します。

▼ [◀(-)] または [▶(+)] を押して< 1.ﾆｼﾞｭｳ>を選択し、[OK] を押します。

▼ [◀(-)] または [▶(+)] を押して<ﾊﾝﾆｼﾞｭｳ>または<ｾﾞﾝﾆｼﾞｭｳ>のどちらか設定する通信モードを選択し、[OK] を押します。

▼ [◀(-)] または [▶(+)] を押して< 2.ETHERNET ﾉ ｼｭﾙｲ>を選択し、[OK] を押します。

▼ [◀(-)] または [▶(+)] を押して< 10 BASE-T >または< 100 BASE-TX >のどちらか設定する方式を選択し、[OK] を押します。

13 **[ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。**

14 **本製品の電源コードを抜いて 10 秒以上待ってから再び接続し、再起動させます。**

現在のネットワーク設定を確認する

本製品のネットワーク設定を確認できます。操作パネルで設定した内容は、本製品を再起動したときに有効になります。

1 **［メニュー］を押します。**

2 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して＜6.ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ＞を選択し、［OK］を押します。**

3 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して＜2.IP ｱﾄﾞﾚｽｶｸﾆﾝ＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して＜1.IP ｱﾄﾞﾚｽ＞、＜2.ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ＞または＜3.ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ＞のうち確認したい項目を選択し、［OK］を押します。**

5 **［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。**

ARP/PING コマンドによる設定方法

メモ　IP アドレスを直接割り当てるときは、「操作パネルによる設定方法」（→ P.2-4）の手順 1 〜 4 に従って、＜1.IP ｱﾄﾞﾚｽ ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ＞を＜ｼﾅｲ＞にし、電源を抜き差しして本製品をリセットしてから、次の操作を行ってください。

1 **MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトを起動します。**

2 **次のコマンドを実行して、arp テーブルに静的なエントリを追加します。**

`arp -s` ＜IP アドレス＞＜MAC アドレス＞

IP アドレス：　本製品に割り当てる IP アドレスを指定します。「.」で区切られた 4 つの数字（10 進の 0 〜 255 の数字）で指定します。（例：172.20.88.125）

MAC アドレス：　本製品の MAC アドレスを指定します。2 桁ごとに「-」で区切って入力します。（例：00-00-85-05-70-31）

入力例：`arp -s 172.20.88.125 00-00-85-05-70-31`

3 **次のコマンドを実行して、ネットワークボードに IP アドレスを設定します。**

ping ＜IPｱﾄﾞﾚｽ＞

入力例：ping 172.20.88.125

メモ　サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、＜ 0.0.0.0 ＞に設定されます。

これでプロトコル設定の準備は完了しました。

NetSpot Device Installer による設定方法

NetSpot Device Installer による設定方法は次のとおりです。

メモ　IP アドレスを直接割り当てるときは、「操作パネルによる設定方法」(→ P.2-4) の手順 1 〜 4 に従って、＜ 1.IP ｱﾄﾞﾚｽ ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ＞を＜ｼﾅｲ＞にし、電源を抜き差しして本製品をリセットしてから、次の操作を行ってください。

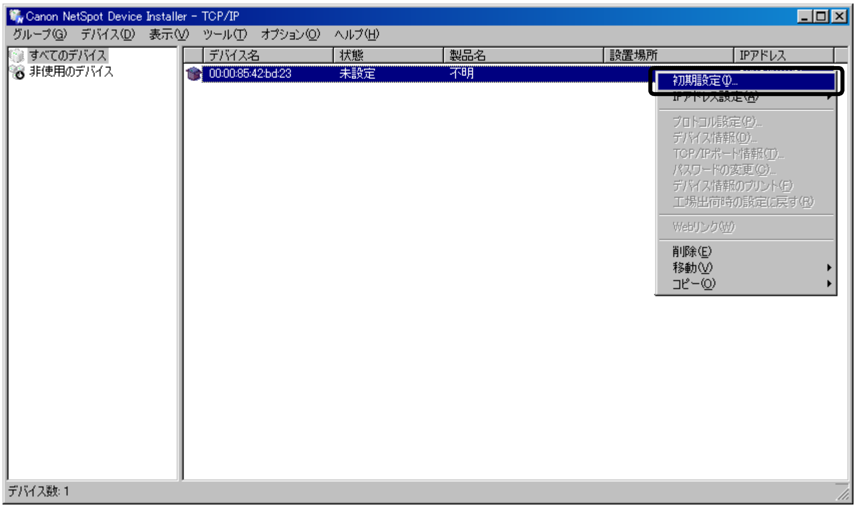
1 **ソフトウェアCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。**

2 **画面の［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。CD-ROM ドライブアイコンを右クリックし、ポップアップメニューの［開く］をクリックします。**

3 **［NetSpot_Device_Installer］フォルダの［nsdi.exe］を実行します。**

4 **一覧から、［デバイス名］に本製品の MAC アドレス、［状態］欄に［未設定］が表示されているデバイスを選択します。**

5 選択したデバイスを右クリックし、ポップアップメニューの［初期設定］をクリックします。



6 ［初期設定］ダイアログボックスの次の項目を設定し、［次へ］をクリックします。

［サブネット］：NetSpot Device Installer を実行中のコンピュータが複数のネットワークに接続されている場合、本製品が属するサブネットを選択します。

［製品タイプ］：本製品は、[MF5770] と表示されます。本製品の製品名が表示されていないときは、プルダウンメニューから [MF5770] を選択してください。

7 TCP/IP プロトコルを設定します。

[IP アドレス設定方法]：IP アドレスの設定方法を選択します。

・[手動設定]：直接 IP アドレスを指定します。[IP アドレス］欄に入力した IP アドレスがネットワークボードに設定されます。

・[DHCP]：IP アドレスは DHCP 機能により自動的に取得されます。(DHCP サーバが起動されている必要があります。)

[IP アドレス]：ネットワークボードの IP アドレスを入力します。

[ゲートウェイアドレス]：TCP/IPネットワークで使用しているゲートウェイアドレスを入力します。

[サブネットマスク]:TCP/IPネットワークで使用しているサブネットマスクを入力します。

[ブロードキャストアドレス]:TCP/IP ネットワークで使用しているブロードキャストアドレスを入力します。

メモ

- [IP アドレス設定方法］で［DHCP］を選択すると、[IP アドレス]、[ゲートウェイアドレス]、[サブネットマスク］欄には入力できません。
- DHCP サーバを利用できないときは、[IP アドレス設定方法］で［手動設定］を選択してください。

8 設定内容を確認し、[OK］をクリックします。

9 次のメッセージボックスが表示されたら、[OK］をクリックします。



設定内容は、しばらくすると有効になります。

これで本製品のプロトコル設定の準備は完了しました。

プロトコルの設定

本製品のプロトコルの設定は、以下のいずれかを使用してコンピュータ上から設定できます。使いやすい方法で設定してください。

- Web ブラウザ（リモート UI）
- NetSpot Console（Web ブラウザ経由）

重要

- NetSpot Console またはリモート UI を利用するには、Web ブラウザが必要です。
- NetSpot Consoleを使用する場合は、ネットワーク上のコンピュータにNetSpot Console がインストールされている必要があります。NetSpot Console について詳しくは、「NetSpot Console ユーザーズガイド」（PDF 形式）または NetSpot Console の Readme ファイルを参照してください。
- NetSpot Consoleを使用してプロトコルの設定を行う場合は、管理者としてログインしてください。NetSpot Console の使い方は、NetSpot Console のオンラインマニュアルを参照してください。

メモ

- Web ブラウザ（リモート UI）を使用して変更した IP アドレスは、本製品の IP アドレスなどの設定（入力）画面にはそのまま反映されません。変更内容は本製品を再起動したときに有効になります。再起動後に本製品で IP アドレスを確認する場合は、＜ 6.ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ＞メニューの＜ 2.IP ｱﾄﾞ ﾚｽｶｸﾆﾝ＞で確認するか、またはユーザデータリストをプリントして確認してください。
- ユーティリティソフト「NetSpot Console」は、ソフトウェア CD-ROM には含まれていません。当社のサイトからダウンロードして使用してください。

Web ブラウザ（リモート UI）による設定方法

メモ リモート UI を使用する前に、＜ 6.ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ＞メニューから＜ 1.LAN ｾｯﾃｲ＞の＜ 7.HTTP ｦｼﾖｳ＞が＜ｽﾙ＞になっていることを確認してください。（→「HTTP」：P.2-23）

1 Web ブラウザを起動し、アドレスバーに以下の URL を入力して、キーボードの［Enter］キーを押します。

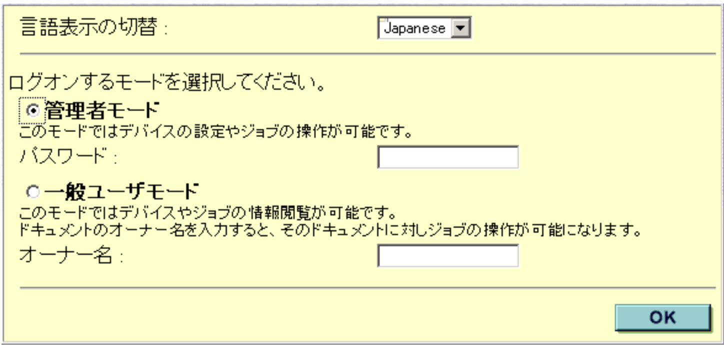
`http://` ＜本製品の IP アドレス＞ `/`

入力例：`http://192.168.203.42/`

重要

- Web ブラウザは Internet Explorer 5.01 SP1 以降または Netscape Navigator/Communicator 6.0 以降をお使いください。
- プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なります。）
  - ・Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、[例外]（プロキシを使用しないアドレス）に本製品の IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

2 ［管理者モード］を選択して［OK］をクリックします。

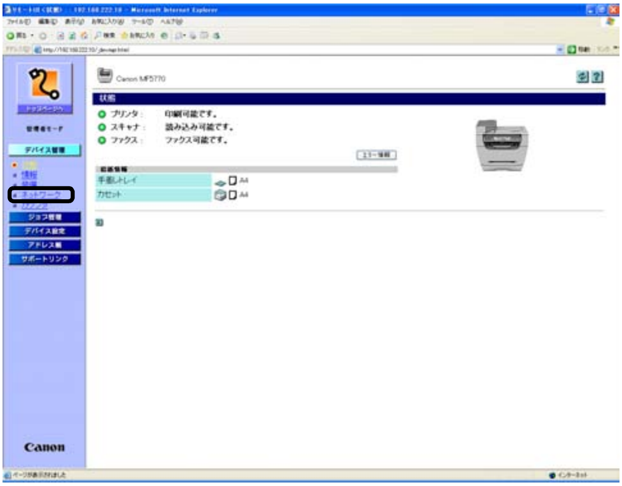


リモート UI が起動します。

メモ

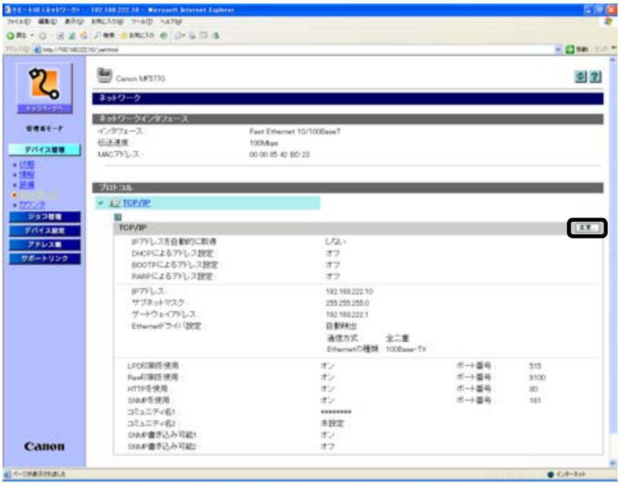
本製品にパスワードを設定しているときは、パスワードを入力してから［OK］をクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 左側の［デバイス管理］メニューから［ネットワーク］を選択します。



［ネットワーク］ページが表示されます。

4 ［TCP/IP］の右にある［変更］をクリックします。



［TCP/IP プロトコル設定の変更］ページが表示されます。

5 変更画面の［IP アドレスを自動的に取得する］を選択し、本製品の IP アドレスの設定方法を指定します。

［DHCP によるアドレス設定］、［BOOTP によるアドレス設定］、［RARP によるアドレス設定］のうち、IP アドレスの設定に使用する項目を［オン］にしてください。

［DHCP によるアドレス設定］、［BOOTP によるアドレス設定］、［RARP によるアドレス設定］を［オフ］にすると、その項目のチェックは行われません。
これらがいずれも使用できないときは、［IP アドレス］に設定されている IP アドレスが割り当てられます。

重要
- 本製品は、プリンタに直接 IP アドレスを割り当てるほかに、DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを利用して IP アドレスを設定することもできます。本製品の起動時またはリセット時に DHCP、BOOTP、RARP が利用可能かどうか確認され、最初に利用可能とわかった方法で IP アドレスが設定されます。

メモ
- DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかのチェックは、1 ～ 2 分程度かかりますので、使用しない項目のチェックを外しておくことをおすすめします。
- DHCP、BOOTP、RARP を使って IP アドレスを割り当てるには、DHCP サーバ、BOOTP デーモン、RARP デーモンが起動されている必要があります。

6 ［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を設定します。

［IP アドレス］は本製品の IP アドレスを、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］は TCP/IP ネットワークで使用しているものを指定します。

メモ
DHCP、BOOTP、RARP を使用している場合は、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］のうちいくつかは使用されません。DHCP、BOOTP、RARP から取得した値が使用されます。

7 ［Ethernet ドライバ設定］の＜自動検出＞または＜手動検出＞を選択します。

イーサネットドライバの設定を自動的に行う場合は＜自動検出＞を、手動設定するときは＜手動検出＞を選択します。

＜手動検出＞を選択すると、［通信方式］と［Ethernet の種類］で通信モードとイーサネットの種類を設定できるようになります。

8 印刷用のプロトコルを設定します。

［RAW 印刷を使用］、［LPD 印刷を使用］のうち、使用する項目を［オン］にしてください。

9 ［OK］をクリックします。

10 本製品の電源コードを抜いて 10 秒以上待ってから再び接続し、再起動させます。

重要 設定は本製品を再起動したあとに有効になります。

これで本製品のプロトコル設定は完了しました。

印刷を行うコンピュータの設定

本製品のプロトコル設定が完了したら、各コンピュータの設定を行います。

■ **TCP/IP ネットワークに接続する**

印刷を行う全コンピュータに TCP/IP クライアントソフトをインストールし、TCP/IP ネットワークを使用できるようにします。詳しくは、OS の説明書を参照してください。

■ **プリンタドライバのインストールと接続先の設定**

印刷をするためには、本製品に対応したプリンタドライバを各コンピュータにインストールし、接続先を設定する必要があります。接続先の設定方法は、使用する印刷プロトコルによって異なります。以下を参考にして使用する印刷プロトコルを決定し、必要な作業を行ってください。

- LPD（Line Printer Daemon）

  TCP/IP で一般的に使用されている印刷プロトコルです。プリンタドライバのインストールと接続先の設定を行ってください。（→プリンタの接続方法（LPD/RAW）: P.2-17 ）

- RAW

  Windows 2000/XP/Server 2003 で利用できる印刷プロトコルです。LPD より高速に印刷できます。プリンタドライバのインストールと接続先の設定を行ってください。（→プリンタの接続方法（LPD/RAW）: P.2-17 ）

メモ ネットワーク上のWindows 2000/XP/Server 2003をプリントサーバに設定することでネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。設定手順については、「プリントサーバの設定方法」（→ P.2-20）を参照してください。

プリンタの接続方法（LPD/RAW）

Windows 98/Me

1 [メニュー] を押します。

2 [◀(-)] または [▶(+)] を押して< 6. ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ>を選択し、[OK] を押します。

3 [◀(-)] または [▶(+)] を押して< 1.LAN ｾｯﾃｲ>を選択し、[OK] を押します。

4 [◀(-)] または [▶(+)] を押して< 6.LPD ｾｯﾃｲ>を選択し、[OK] を押します。

5 [◀(-)] または [▶(+)] を押して<ｽﾙ>を選択し、[OK] を押します。

6 テンキーでLPDポート番号(初期値は515)を入力し、[OK]を押します。

重要　設定は本製品を再起動したあとに有効になります。

7 プリンタドライバをインストールします。(→ ソフトウェアガイド)

これでプリンタの接続先の設定が完了しました。

Windows 2000/XP/Server 2003

1 **［メニュー］を押します。**

2 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して< 6. ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ>を選択し、［OK］を押します。**

3 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して< 1.LAN ｾｯﾃｲ>を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して< 6.LPD ｾｯﾃｲ>または< 8.RAW ｾｯﾃｲ>を選択し、［OK］を押します。**

● **LPR プロトコルを使用する場合**

▼ < LPD ｾｯﾃｲ>を選択し、［OK］を押します。
▼ ［◀(-)］または［▶(+)］を押して<ｽﾙ>を選択し、［OK］を押します。
▼ テンキーで LPD ポート番号（初期値は 515）を入力し、［OK］を押します。

● **RAW プロトコルを使用する場合**

▼ < RAW ｾｯﾃｲ>を選択し、［OK］を押します。
▼ ［◀(-)］または［▶(+)］を押して<ｽﾙ>を選択し、［OK］を押します。
▼ テンキーで RAW ポート番号（初期値は 9100）を入力し、［OK］を押します。

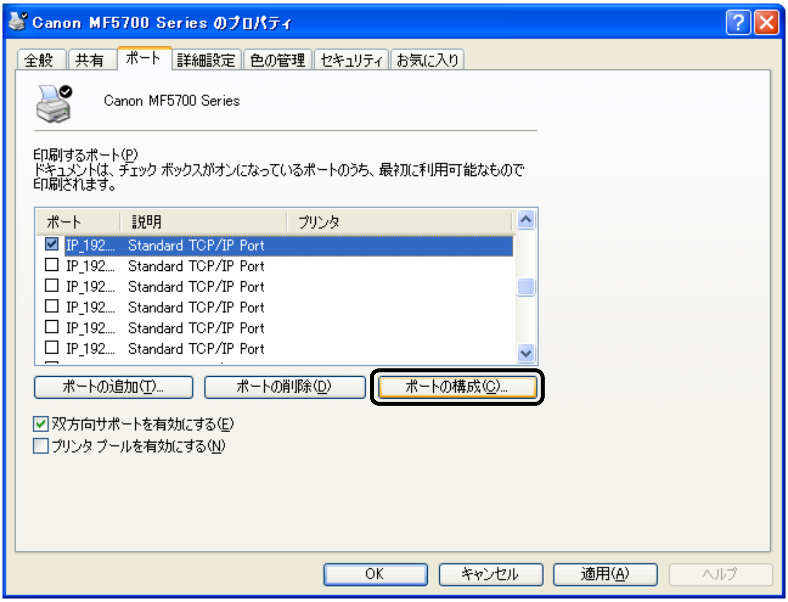
重要　設定は本製品を再起動したあとに有効になります。

5 **プリンタドライバをインストールします。（→ ソフトウェアガイド）**

6 LPD で使用するときは、ポートの構成情報を変更します。

▼ ［ポート］タブをクリックして、［ポート］シートを表示します。

▼ ［ポートの構成］をクリックします。



▼ ［プロトコル］で［LPR］を選択して、［LPR 設定］の［キュー名］に「lp」と入力して、［OK］をクリックします。

メモ　初期値が RAW なので、RAW で使用するときはこの手順は必要ありません。

7 ［OK］をクリックして、設定を有効にします。

これでプリンタの接続先の設定が完了しました。

プリントサーバの設定方法

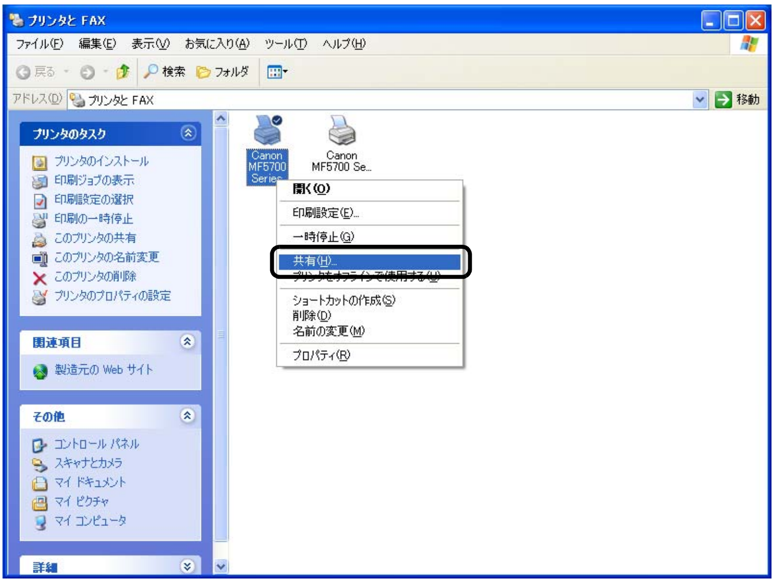
ネットワーク上の Windows 2000/XP/Server 2003 をプリントサーバに設定することで、ネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバを設定すると、プリントジョブはプリントサーバによって管理されます。また、あらかじめプリントサーバに代替ドライバをインストールしておくと、各コンピュータはプリンタドライバをネットワーク経由でインストールできるようになります。

1 **プリンタドライバのプロパティダイアログボックスの［共有］シートを表示します。**

▼ ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。(Windows 2000 では［スタート］→［設定］→［プリンタ］)

▼ 本製品のプリンタドライバのアイコンを右クリックします。

▼ ポップアップメニューから［共有］を選択します。

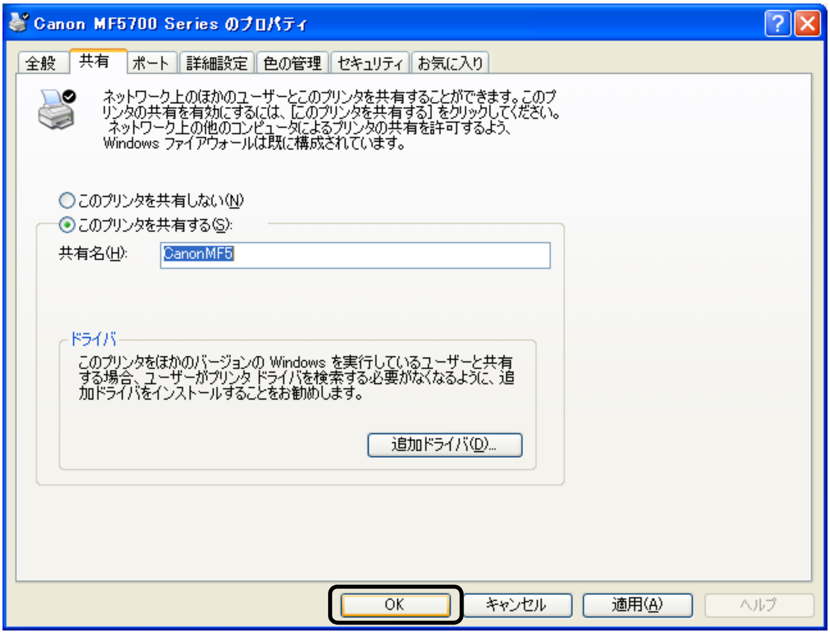


2 **共有設定を行います。**

▼ ［このプリンタを共有する］を選択して、任意の共有名を入力します。

▼ ［追加ドライバ］をクリックし、インストールするプリンタドライバを選択します。

▼［OK］をクリックします。



代替ドライバをインストールするときは、プリンタドライバのファイルの場所を入力する画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

メモ　他のコンピュータにプリンタドライバをインストールするときは、プリンタウィザードのプリンタの接続先を選択する画面で［ネットワークプリンタ］を選択して、プリントサーバに設定したコンピュータの共有プリンタを選択してください。

これで共有プリンタの設定が完了しました。

プリンタの管理

以下のソフトウェアを使用して、お使いのコンピュータ上から本製品の状態を調べたり本製品の設定を行ったりできます。

- Web ブラウザ（リモート UI）
- NetSpot Device Installer（ソフトウェアCD-ROM内のキヤノンのユーティリティソフト）
- NetSpot Console（Web ブラウザ経由）

メモ　ユーティリティソフト「NetSpot Console」はソフトウェア CD-ROM には入っていません。当社のサイトからダウンロードして使用してください。

Web ブラウザ（リモート UI）を使用して管理する

本製品に内蔵されているソフトウェア「リモート UI」を使用して、Web ブラウザ上でプリンタの管理をすることができます。リモート UI の起動方法については、「Web ブラウザ（リモート UI）による設定方法」（→ P.2-11）の手順 1 を参照してください。リモート UI の使用方法については、「リモート UI ガイド」の「2 章　リモート UI のさまざまな機能」を参照してください。

NetSpot Device Installer を使用して管理する

NetSpot Device Installer は、ネットワークに接続されたキヤノン製品の初期設定を行うためのユーティリティソフトです。付属のソフトウェア CD-ROM に入っています。コンピュータにインストールせずに直接 CD-ROM から実行して、ネットワークの初期設定をすばやく簡単に行うことができます。

詳しい使用方法については、NetSpot Device Installer のオンラインヘルプを参照してください。

NetSpot Console を使用して管理する

NetSpot Console は、ネットワークに接続された機器を管理するユーティリティソフトです。Web ブラウザを利用して、ネットワーク機器のさまざまな情報を確認したり設定したりできます。機器一覧や機器マップの表示、詳細なプロトコル設定、機器の状態の表示や通知、ジョブ操作などが行えます。

詳しい使用方法については、NetSpot Console のオンラインマニュアルを参照してください。

その他のプロトコル設定

本製品でサポートされている他の 2 種類のプロトコル、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）と SNMP（Simple Network Management Protocol）について説明します。

HTTP

HTTP により、お使いのコンピュータと本製品が Web インタフェース（リモート UI など）を介して通信できるようになります。

リモート UI を使用するには、以下の手順に従って＜ 6. ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ＞メニューで HTTP を有効にしてください。

1 **［メニュー］を押します。**

2 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して＜ 6. ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ＞を選択し、［OK］を押します。**

3 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して＜ 1.LAN ｾｯﾃｲ＞を選択し、［OK］を押します。**

4 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して＜ 7.HTTP ｦ ｼﾖｳ＞を選択し、［OK］を押します。**

5 **［◀(-)］または［▶(+)］を押して＜ｽﾙ＞を選択し、［OK］を押します。**

6 **テンキーでHTTPポート番号（初期値は80）を入力し、[OK] を押します。**

7 **［ストップ / リセット］を押して待受画面に戻ります。**

重要　設定は本製品を再起動したあとに有効になります。

SNMP

SNMP は、本製品の状態を確認したり、本製品の情報を収集するときに利用します。次の2つの項目が設定可能です。

■ **コミュニティメイ**
SNMP のコミュニティ名を設定します。コミュニティ名は2つまで設定できます。

■ **SNMP カキコミ カノウ**
この項目がオンになっていると、ネットワーク上のコンピュータが本製品にアクセスして設定を変更できるようになります。この項目は、コミュニティごとに設定可能です。

---

1 **[メニュー]を押します。**

2 **[◀(-)]または[▶(+)]を押して< 6. ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ>を選択し、[OK]を押します。**

3 **[◀(-)]または[▶(+)]を押して< 1.LAN ｾｯﾃｲ>を選択し、[OK]を押します。**

4 **[◀(-)]または[▶(+)]を押して< 5.SNMP ｾｯﾃｲ>を選択し、[OK]を押します。**

5 **[◀(-)]または[▶(+)]を押して<ｽﾙ>を選択し、[OK]を押します。**

6 **テンキーで SNMP ポート番号(初期値は 161)を入力し、[OK] を押します。**

7 **[◀(-)]または[▶(+)]を押して< 10. ｺﾐｭﾆﾃｨﾒｲ 1 >または< 11. ｺﾐｭﾆﾃｨﾒｲ 2 >を選択し、[OK]を押します。**

8 **テンキーで SNMP コミュニティ名を入力し、[OK]を押します。**

9 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して＜ 12.SNMP ｶｷｺﾐｶﾉｳ 1 ＞または＜ 13.SNMP ｶｷｺﾐｶﾉｳ 2 ＞を選択し、[OK] を押します。**

10 **[◀(-)] または [▶(+)] を押して＜ｽﾙ＞または＜ｼﾅｲ＞を選択し、[OK] を押します。**

11 **[ストップ / リセット] を押して待受画面に戻ります。**

重要 設定は本製品を再起動したあとに有効になります。

付録

3 CHAPTER

印刷中に起きたトラブルの解決法、ネットワーク設定項目一覧、ネットワーク設定に利用できるソフトウェア、用語集です。

困ったときには

印刷に関する基本的なトラブルの原因と対処法について説明します。

メモ 以下の説明に従ってもトラブルを解決できないときは、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

TCP/IP ネットワークから印刷できない

原因 1 ：本製品とケーブルが正しく接続されていない。

処　置 ：次のことを確認し、本製品の電源を入れなおしてください。

- 本製品がネットワークに正しいケーブルを使って接続されていることを確認します。（→ セットアップシート（ネットワーク・プリンタ機能設定編）「本製品をネットワークプリンタとして使用する（ネットワーク接続）」）

原因 2 ：TCP/IP ネットワークが正しく設定されていない。

処　置 ：次のことを確認してください。

- IP アドレスが正しく設定されていることを確認します。DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定した場合は、DHCP、BOOTP、RARP が動作していることを確認してください。

原因３：印刷を行うコンピュータが正しく設定されていない。

処　置：次のことを確認してください。

- 正しいプリンタドライバがインストールされていることを確認します。Windows 98/Me から印刷を行うには、各コンピュータにプリンタドライバがインストールされている必要があります。プリンタドライバのインストール方法は、ソフトウェアガイドを参照してください。
- 印刷を行うコンピュータの出力先が正しいプリンタに設定されているか確認します。出力先は、スタートメニューの「設定」から「コントロールパネル」の「プリンタ」（Windows XP では「プリンタと FAX」）で確認できます。

原因４：印刷するファイル名が長すぎる。

処　置：LPR（Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は「Microsoft TCP/IP 印刷」）は通常、印刷に使用するアプリケーションソフト名やファイル名を元にしたジョブ名を送信します。しかし、ジョブ名が 255 バイト以上になると正常に送信できなくなります。このときは、印刷するファイル名を短くしてください。

ネットワーク設定項目一覧

操作パネルで行う設定

本製品の操作パネルで設定できる項目は以下のとおりです。

ネットワーク設定

項目名	内容	初期値
IP ｱﾄﾞﾚｽ ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ	自動（DHCP/BOOTP/RARP, ｽﾙ / ｼﾅｲ）	ｽﾙ
IP ｱﾄﾞﾚｽ	IP アドレス	0.0.0.0
ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ	IP アドレス	0.0.0.0
ﾃﾞﾌｫﾙﾄ ｹﾞｰﾄｳｪｲ	IP アドレス	0.0.0.0
SNMP ｾｯﾃｲ	SNMP 設定（**ｽﾙ** / ｼﾅｲ） ポート番号の設定	ｽﾙ （ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ:161）
LPD ｾｯﾃｲ	LPD 設定（**ｽﾙ** / ｼﾅｲ） ポート番号の設定	ｽﾙ （ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ:515）
HTTP ｦ ｼﾖｳ	HTTP 設定（**ｽﾙ** / ｼﾅｲ）） ポート番号の設定	ｽﾙ （ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ:80）
RAW ｾｯﾃｲ	RAW（**ｽﾙ** / ｼﾅｲ） ポート番号の設定	ｽﾙ （ﾎﾟｰﾄﾊﾞﾝｺﾞｳ:9100）
ETHERNET ﾄﾞﾗｲﾊﾞ	ETHERNET ドライバの設定（**ｼﾞﾄﾞｳ** / ﾏﾆｭｱﾙ）	ｼﾞﾄﾞｳ
ｺﾐｭﾆﾃｨﾒｲ 1	コミュニティ名の設定	public
ｺﾐｭﾆﾃｨﾒｲ 2	コミュニティ名の設定	（空欄）
SNMP ｶｷｺﾐ ｶﾉｳ 1	SNMP 書込みの設定（**ｽﾙ** / ｼﾅｲ）	ｽﾙ
SNMP ｶｷｺﾐ ｶﾉｳ 2	SNMP 書込みの設定（ｽﾙ / **ｼﾅｲ**）	ｼﾅｲ

ソフトウェアで行う設定（NetSpot Console、NetSpot Device Installer、Web ブラウザ（リモート UI））

NetSpot Console、NetSpot Device Installer、Web ブラウザ（リモート UI）で本製品の設定を変更できます。変更できる項目は以下のとおりです。

共通設定

項目名	内容	初期値
デバイス名	デバイス名 （全角最大 32 文字・半角最大 63 文字）	（空欄）
設置場所	デバイスの場所 （全角最大 32 文字・半角最大 63 文字）	（空欄）
管理者名	デバイスの管理者名 （全角最大 32 文字・半角最大 63 文字）	（空欄）
管理者連絡先	デバイスの管理者の連絡先 （全角最大 32 文字・半角最大 63 文字）	（空欄）
サービス担当者名	サービスマンの名前 （全角最大 32 文字・半角最大 63 文字）	（空欄）
サービス担当者連絡先	サービスセンターの電話番号 （全角最大 32 文字・半角最大 63 文字）	（空欄）
管理者パスワード	デバイスのパスワード（最大 15 文字）	（空欄）
一般ユーザによるジョブ操作 *	一般ユーザモードでの印刷ジョブ操作を許可するかどうかを設定	オフ
言語表示の切替 **	Web ブラウザの初期表示言語	Japanese
リンク先 **	リモート UI のサポートリンクページに表示されるリンク名	（空欄）
URL**	リモート UI のサポートリンクページに表示される URL	（空欄）
コメント **	リモート UI のサポートリンクページに表示されるコメント	（空欄）

メモ　* 印の項目は、NetSpot Device Installer では設定できません。** 印の項目は、NetSpot Device Installer および NetSpot Console では設定できません。これらはリモート UI で設定してください。

3 付録

TCP/IP 設定

項目名	内容	初期値
DHCP によるアドレス設定	IP アドレスの設定に DHCP を使用するかどうかを設定	オン
BOOTP によるアドレス設定	IP アドレスの設定に BOOTP を使用するかどうかを設定	オフ
RARP によるアドレス設定	IP アドレスの設定に RARP を使用するかどうかを設定	オフ
IP アドレス	本製品の IP アドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	サブネットマスク	0.0.0.0
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレス	0.0.0.0

ネットワーク設定に利用できるソフトウェア

本製品のネットワーク設定は、以下のソフトウェアで行うことができます。

設定の種類	NetSpot Console	NetSpot Device Installer	Web ブラウザ（リモートUI）	ARP/PING コマンド	本製品の操作パネル
TCP/IP プロトコル設定の準備（→ P.2-3 ）	×	○	×	○	○
TCP/IP プロトコル設定（→ P.2-11 ）	△ *	△ *	○	×	×

* △は一部の項目のみ設定可能です。（→「ネットワーク設定項目一覧」：P.3-3）

用語集

B

BOOTP（BOOTstrap Protocol）

TCP/IP ネットワーク上のサーバからクライアント機がネットワーク設定情報を自動的に取得するためのプロトコル。BOOTP により、ホスト名、ドメイン名、IP アドレスといった情報をクライアント機が自動的に見つけられるため、これらの情報の手動設定が不要になる。

D

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

TCP/IP ネットワーク上のクライアントのネットワーク設定を自動的に行うプロトコル。インターネットの標準プロトコルである TCP/IP のセットアップに必要な設定の多くは自動設定が可能である。

H

HTTP（Hypertext Transfer Protocol）

クライアント／サーバ形式の TCP/IP プロトコル。HTML（Hyper Text Markup Language）形式のドキュメントをインターネット上で転送するため Web で用いられる。

I

IP アドレス（Internet Protocol address）

インターネット上でコンピュータを特定するために用いられる32ビットの数値によるアドレス。ピリオドで4つに区切って記述する。128.121.4.5 など。

L

LAN（Local Area Network）

同じ建物または比較的近い場所にあるサーバ、ワークステーション、コンピュータを接続して構築されるネットワークシステム。

LPD（Line Printer Daemon）

Daemon（デーモン）は特定のタスクを実行するため自動的に実行されるプログラム。LPD は印刷ジョブのフローを制御するデーモンである。

M

MAC アドレス（Media Access Control address）

LAN に接続されたコンピュータのネットワークアダプタのハードウェアアドレス。

R

RARP（Reverse Address Resolution Protocol）

ネットワークアダプタのアドレス（MAC アドレス）から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコル。

RAW

Windows 2000/XP/Server 2003 で用いられる印刷アプリケーション。LPD より印刷スピードが速い。

RIP（Raster Image Processor）

コンピュータから送られてくるベクタグラフィックデータを、印刷できるラスタグラフィックイメージに変換するためにプリンタが行うハードウェア／ソフトウェアの機能。

S

SMB（Server Message Block）

ネットワーク上のWindowsコンピュータにファイル共有およびプリンタ共有を提供するプロトコル。

T

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

インターネットや WAN に接続するためのプロトコル。

U

URL（Uniform Resource Locator）

インターネット上のオブジェクト（通常は Web ページ）の場所を特定する標準的な方法。http://www.w3.org/default.html のように記述する。"http:" は Web ページにアクセスしようとしていること、"www.w3.org" はその Web ページが格納されているサーバのアドレス、"default.html" はその Web ページのトップページのファイル名を意味する。

W

WAN（Wide Area Network）

広域ネットワーク。LAN が狭い地域のコンピュータネットワークであるのに対し、WAN は広い地域にまたがるネットワークである。

あ

イーサネット

複数のコンピュータを接続するための業界標準 LAN システム。データはパケットに分割されコンピュータ間を転送される。パケットは他のパケットと衝突することなくスムーズに宛先のコンピュータに届く。

インターネットプロトコル（Internet Protocol: IP）

インターネット上をデータがどのように転送されるかを記述したネットワーキングの一連の基本ルール。あるコンピュータからのデータがパケットに分割され、特定のIP アドレスを持つ別のコンピュータに届く仕組みを実現するのがインターネットプロトコルである。

か

クッキー（Cookie）

ユーザが Web サイトにアクセスするときに、ユーザのコンピュータに記憶されるファイル。再度その Web サイトにアクセスすると、以前にもアクセスしたユーザであることがクッキーによって分かる。サイトに自動的にアクセスしたり、サイトの機能をカスタマイズするのに使われるのが一般的。

ゲートウェイアドレス

ネットワークまたは Web サイトの既定のアドレス。単一のドメイン名とサイト入口が提供される。

さ

サブネットマスク（SUBNETwork mask）

TCP/IP ネットワーク上で、ある IP アドレスがどの下位グループ（サブネット）に属するかを決める方法。プリフィックスが同じ IP アドレスを持つデバイスは同じサブネットに属する。ネットワークをサブネットに分割するのは、セキュリティとパフォーマンスの両面で効果的である。

スイッチングハブ

複数のコンピュータを接続できるネットワーク接続ボックス。スイッチングハブは、ネットワークからのデータパケットをパケットのアドレスに従って適切なコンピュータに振り分ける。従来のハブは、すべてのパケットを単純にすべてのコンピュータに送るのに対し、スイッチングハブは、パケットを宛先のコンピュータだけに送るので効率よくネットワークを利用できる。

スコープ ID

スコープ ID は、NetBIOS 名に追加される文字列で、TCP/IP ネットワーク上のすべての NetBIOS リソースに付けられている。スコープ ID を設定することで、同じスコープ ID を共有するコンピュータ同士でのみの通信が可能になる。

スプーリング（Spooling: Simultaneous Peripheral Operations On-Line）

バッファ（メモリーやディスクの特別の領域）にジョブを入れること。データアクセスのスピードはデバイスによって異なるため、受け手のデバイスのアクセス準備ができるまで、データを一時的に貯めておく役割をする。

ソースルーティング

通常、ホストはパケットのたどるルートに関知しないが、ソースルーティングは、パケットの送信元がそのパケットの宛先までのルートを指定する方法である。

た

デーモン

バックグラウンドで実行され、あらかじめ設定されたタイミングや特定のイベントに応じて、決められた作業を実行するプロセス。印刷スプーラや自動化されたネットワーク情報システムなどが代表的。

は

バッファサイズ

異なるスピードや優先順位で機能しているデバイスやプログラムが共有するデータ領域（バッファ）のサイズ。バッファは、あるデバイスやプロセスが他のデバイスやプロセスによって機能を停止させられることがないように用意されており、正常に機能するためには適切な設定が必要である。

ファイルサーバ

LAN 経由で複数のクライアントコンピュータがアクセスするコンピュータまたはワークステーション。ファイルサーバのハードディスクドライブは、クライアントコンピュータによって共有される。

プロキシサーバ

表示に時間がかかる、接続料金が必要などのリモートサーバ上のファイルの代理として、ファイルのキャッシュを提供するサーバ。通常 www サーバを指し、URL を受け取ると要求されたファイルをキャッシュから提供しようとする。必要なファイルがキャッシュにないと、リモートサーバに取りに行って提供する。このときキャッシュにも保存し、次に要求があったときはキャッシュ内のローカルファイルが提供される。

プロトコル

ネットワークのデータ転送を制御する一連のルール。FTP、DHCP、BOOTP、RARP、IPP、TCP/IP などがある。

ベクタグラフィクス（Vector Graphics）

「ラスタ」を参照。

ら

ラスタ

ベクタグラフィックスは幾何学的な形状によるイメージであるのに対し、ラスタグラフィックスはドットのパターンによるイメージである。多数の色の点の中の、色の点の各列が 1 つのラスタグラフィックを構成する。プリンタは一度に 1 ラスタずつ印刷しながらイメージを紙に転写するため、ラスタグラフィックがプリント用のマスタイメージとして使われる。

ログイン

認証のためユーザ名とパスワードを入力して、コンピュータのセッションまたはサービスへのアクセスを開始すること。

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ら

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター
（全 国 共 通 番 号）

050-555-90024

[受付時間]　〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9331 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

FA7-9243　(000)